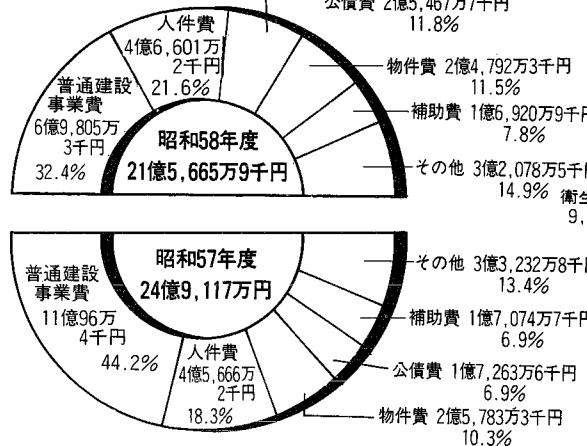


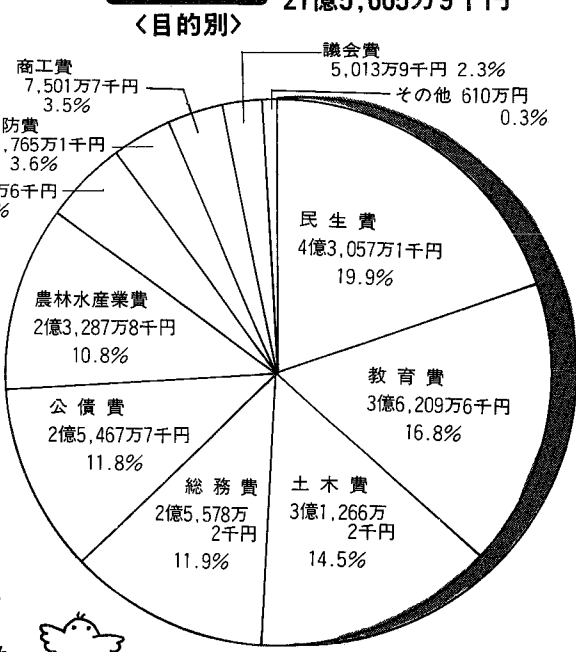


明日にむかって 大きな

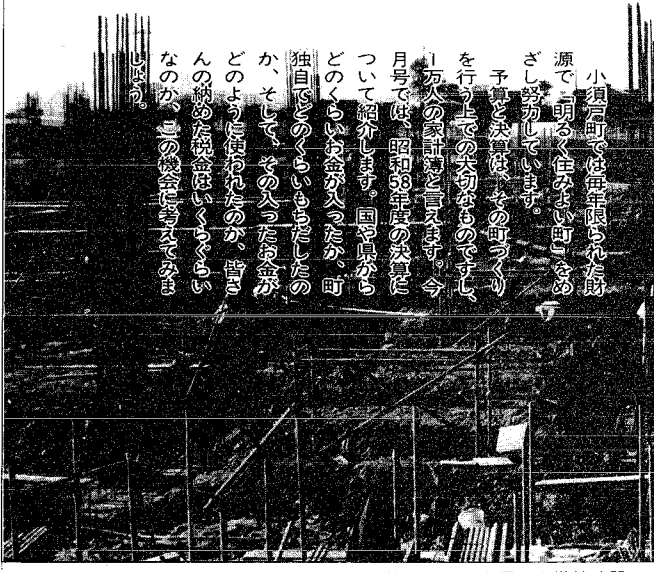
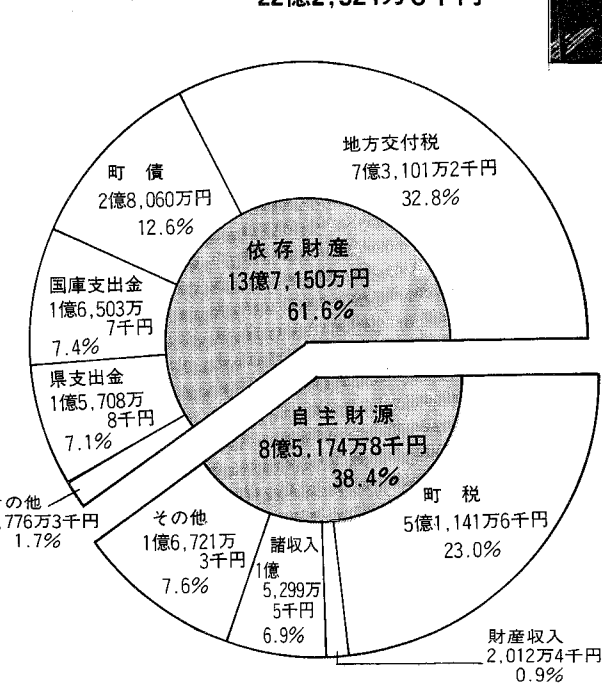
幼稚園の入園式 (性質別) (図4)



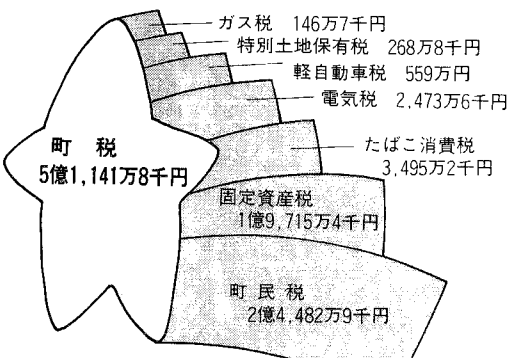
出たお金 (目的別) (図3)



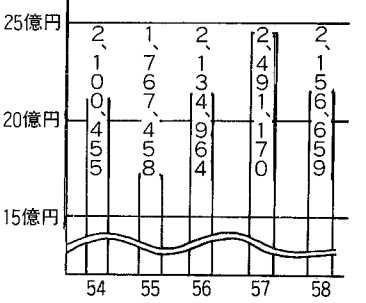
入ったお金 (図2)



町税 (図1)



決算額の推移



町民1人あたりに
使われた費用
202,826円

町民1人あたり
納めた税金
48,097円

一般会計の概要

昭和58年度の当初予算は、前年度に
対し10・8%増でスタートしました。
その後の補正で最終的に一般会計の決
算額は、入ったお金(歳入)22億2、
324万8千円、出たお金(歳出)21
億5、665万9千円で、差し引き6、
658万9千円の黒字となり、翌年度
に繰越されました。
また、この決算額は昨年と比べ歳入
で13・6%、歳出で15・5%のそれぞ
れ減となりました。

町税 (図一)

皆さんから納めていただいた税金は
全体で5億1、141万6千円。前年度
と比較して2、090万6千円、4・1
%の増となりました。町民一人あたり
4万8、097円を納めたことになり
ます。

入ったお金 (図二)

町に入ったお金(歳入)を見てみると
自分の町で確保できるお金(自主財源)
は昨年より増えていますが全体の38・
4%しかありません。国税を町の財政
事情により分配される地方交付税、国

や県が町の行う事業に対し助成する国
庫支出金、県支出金や、町の借入金など
によるお金(依存財源)が全体の61・6
%を占めています。地方の時代」と呼
ばれながら財政の面では、まさに「三
割自治」と言えます。

出たお金(目的別) (図三)

出たお金(歳出)を見てみると、目
的別では、小須戸保育園の移転事業の
あった民生費が、19・9%でトップ。
次に小須戸小学校の用地造成事業、矢
代田小学校のプール建設のあった教育
費が16・8%。除雪機械の購入、町の
道路の舗装や改良、役場横の都市街路
事業のあった土木費が14・5%と続き
ます。

また借金の返済(公債費)が前年度

に比べ8、204万1千円、4・9%も
増えました。
そして、町民一人あたりに使われた
費用は20万2、826円になり、皆さん
が納められた税金の約4倍になります。

出たお金(性質別) (図四)

出たお金(歳出)の性質別を見てみ
ると、小須戸保育園、矢代田プール、
農業施設、道路改良、消雪パイプなど
の普通建設事業費が前年度と比較する
と減っていますが32・4%を占めてい
ます。続いて人件費、公債費、物件費
補助費となり、今年度は公債費(町の
借金返済)が物件費を上まわりました。